

令和5年度 日本大学自主創造プロジェクト

## 日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2023011

プロジェクト名 竹灯りの祭りで放置竹林の美化と網代地域や住民の心に灯りを  
ともす

## プロジェクトの概要

本プロジェクトでは、地元密着型イベントの企画・運営に参加した。参加の背景には地域課題がある。網代は少子高齢化や人口減少が顕著な地域であり、加えて網代にある長谷寺の敷地内にある竹林が放置竹林になり、土砂災害のリスクが顕在化している。この課題から、伐採した竹で地域を盛り上げるイベントを開催することで、地域課題に対する認知向上と竹活用について考えるきっかけを作り、地域課題改善の一助とすることを目標とした。

## プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトの活動は静岡県熱海市網代で行われ、月二回程度土日を利用した網代での活動と、オンラインの活動に分けられる。現地での活動では、初めは網代の街を知る試みとして街散策や歴史の学びを行い、次に竹の扱い方について指導を受けながら竹を使用した展示物などの制作を行った。また各活動回で、連携団体とイベントのビジョンや制作過程やゴールを確認し、今後の予定について随時検討した。検討内容に応じてZOOM等を使用しミーティングを行うことで、現地以外の作業日を効率的に使用することができた。イベント名は、自分達が制作過程で感じた様々な縁を取り入れた「竹あかりの縁～共に照らそう 網代のまち～」である。チラシ・パンフレットを約200部ずつ配布し、推定参加者数は250人を超える。地元住民からは、本イベントが網代の地域活性化に繋がる可能性を感じてもらい、今後の開催も希望されている。メディア上の成果として、熱海新聞や日大新聞での掲載があり、反響を呼んだ。本プロジェクトではイベントの企画・運営を行い、網代を舞台に老若男女問わず活気のあるイベントの開催を実現した。参加して頂いた方々の中には現役の高校生もあり、網代だけでなく様々な地域の様々な年代に影響を与える規模感だと実感した。また、竹を灯籠などに加工し、竹の利用法を提示することで竹を用いた工芸品の魅力や二次利用の可能性を発信することができたと考えている。イベントの企画・運営に対し、学生にしかない考え方やアイデアで関わることができたことから、日本大学の後輩に第2回竹あかりの実現を強く願うとともに、竹の二次利用として工芸品の魅力を伝える活動が広がることを祈っている。

## 活動写真

